

# 大阪・関西万博開催に向けた御意見

御所属 一般社団法人ナレッジキャピタル 御名前 野村 卓也 様

## 1. 2025年の大阪・関西万博に何を期待しますか。

(是非するべきこと、また、するべきではないこと、後世に残すべきもの等)

- 日本の可能性、次代の役割を世界に知らしめること。

そのために開催期間後の大阪・関西を一つのモデル地域として都市戦略、産業戦略、生活戦略などのグランドデザインを構想したうえでの全体計画立案。

- ① 「大阪・関西ベイエリア（新関西都市）」（現在の大阪湾ベイエリアを発展、拡大）を設定する。

ニューヨーク・メトロポリタンエリア、サンフランシスコベイエリア、東京ベイエリア、グレーターベイエリアに並ぶ文化・産業都市圏にする。

70年万博開催後、新技術、新ビジネス、新会社、新しい人材を多く輩出したが、今回も多くの起業と人材の集積を図る。

- ② 世界の「祝祭都市」を目指して。

明治36年の第五回内国勸業博覧会、大正14年の大大阪記念博覧会開催後は毎年のように博覧会が開催されていたことの例に倣い2025以降、毎年国際的フェスティバルを開催する。

- レガシーは心の中に。日本としての誇りと自信を未来に伝える「〇〇史上NO. 1」何のNO. 1を目指すかを事前に募り、出来るだけ多くの人々の手を借りた万博をつくる。

Ex. 開催場所数、参加者数ナンバーワン

日本各地、世界各拠点にEXPOスペースを展開、テレイグジスタンス、高性能アバターなどで直接会場に来られない人たちも参加できるようにする。アバターしか行けないエリアも開設する。

- 次世代の人材育成のあり方をともに考える場と機会をつくる。

新しい教育・学びのカタチをテーマとしたパビリオンで、何かを見せるのではなく、多文化・多言語による体験や実践ができる環境とプログラムを提供する。

## 2. 大阪・関西万博で見せるべきコンテンツは何でしょうか。

(例：最先端技術の実証、SDGs 達成への貢献、ライフサイエンス分野との連携等)

- 大阪・関西の特徴でもある「人」「多様性」「参加性」に焦点を当てる。

- ① 185Days EXPOアワード

会期中、規模を問わず毎日どこかの団体、企業の主催で様々な分野でのアワード、コンテストを開催。

世界中からの参加が可能で、多様な価値を持つ人にスポットを当て、承認し称賛する。会期終了後には185人のチャンピオンが誕生する。

- ② 参加者の爪痕を残す記念碑

多くの参加者が創造に参加できる、または手形、足形などのIDを残せるモニュメント、壁画、会場内の植樹などの制作への参加。会期前からスタートし、会期中も実施し、最

終日に完成する。

③ 1000種類の入場チケット・プロモーション

有名、無名を問わず、大阪・関西を含め世界のアーティスト、クリエイター、キャラクターとコラボしたチケットデザインを販売。このチケットが欲しいためにリピーターができるぐらいのインパクトのある事前プロモーションを行う。

**3. 会場計画及びインフラ整備について、新たなアイデアや御意見を申し上げます。**

(例：会場のデザイン、水面や緑地の利活用、待ち時間のない万博とするための手法、災害対策、暑さ対策等)

● 懐の深さ、広さを示すことができるインフラ、機能、サービスの開発

① ストレスフリーにするためのセンサー付きハンドリングの配布

エントリーするだけで並ばなくても順番が来るとアラート告知、AIによる空いているパビリオン誘導、迷子検索、疲労度感知による警告、救援など。

② 並ばず使用できる日本の誇るトイレビル

個数を確保するためのトイレを縦に配置するトイレビルを設置。

③ 80歳以上来場者向けサービスの充実

高齢者を積極的に誘致するためのケア設備、スタッフの充実。

超高齢化社会のあるべき姿を世界に先駆けて実践、アピール。

**4. そのほか、御自由に御意見を申し上げます。**

● 日本全体において自分事として捉え、興味と関心が持てる仕組みや発信が必要である。

● 特に若い世代は万博の概念やパビリオンといった言葉も知らない。早い時点でのプレプロモーションなどによるPRを実施すべき。

● 最先端技術だけではなく人と社会との関係性を示す。

● テーマは尊重しつつ、多くの人が注目、熱狂できる面白さを展開する。

● 子供（小学生）が絶対行きたい、と親にせがむぐらいのコンテンツが必要。

以上